

**平成26年度久留米広域市町村圏事務組合
各会計決算の要領**

1 一般会計

当会計は、組合議会及び総務事務にかかる会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、32,451千円であり、予算現額に対する収入率は103.0%となっている。

歳入の主なものは、構成市町負担金及び前年度繰越金である。

款	項	金額(円)
1負担金及び負担金		28,400,000
	1負担金	28,400,000
2繰越金		4,047,406
	1繰越金	4,047,406
3諸収入		4,058
	1組合預金利子	4
	2雑入	4,054
歳入合計		32,451,464

(2) 歳出

歳出決算額は、30,077千円であり、予算現額に対する執行率は95.5%となっている。

歳出の主なものは、議員報酬、役員給料、議案書等の印刷製本費、附属機関の委員報酬及び事務局派遣職員に係る人件費負担金などの経常的経費である。

款	項	金額(円)
1議会費		1,829,740
	1議会費	1,829,740
2総務費		28,247,269
	1総務管理費	28,030,909
	2文書広報費	106,360
	3公平委員会費	0
	4監査委員費	110,000
3予備費		0
	1予備費	0
歳出合計		30,077,009

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 2,374 千円は翌年度に繰り越すこととしている。

区 分	金 額 (円)
歳入決算額	32,451,464
歳出決算額	30,077,009
歳入歳出差引額	2,374,455
翌年度へ繰り越すべき財源	0
実質収支額	2,374,455

2 ふるさと振興事業特別会計

当会計は、組合の基本理念である「明日の豊かさと安らぎを育む筑後川交流圏の創造」を推進するため、観光PR事業をはじめとする「ふるさと振興事業」を展開するための会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、19,953千円であり、予算現額に対する収入率は98.0%となっている。

歳入の主なものは、ふるさと振興基金の運用収入、前年度繰越金及び結婚サポート事業のイベント参加料である。

款	項	金額(円)
1財産収入		15,801,920
	1財産運用収入	15,801,920
	2財産売却収入	0
2繰越金		3,819,760
	1繰越金	3,819,760
3諸収入		331,351
	1ふるさと預金利子	0
	2雑入	331,351
歳入合計		19,953,031

(2) 歳出

歳出決算額は、15,562千円であり、予算現額に対する執行率は76.5%となっている。

歳出の主なものは、圏域内のイベント情報を提供するラジオ放送「ちくご路かわら版」事業に係る広告料、インターネット情報提供事業や観光PR事業、結婚サポート事業の実施に係る業務委託料及び広域行政課題調査研究支援事業での費用弁償である。

款	項	金額(円)
1事業費		15,561,553
	1事業費	15,561,553
3予備費		0
	1予備費	0
歳出合計		15,561,553

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 4,391 千円は翌年度に繰り越すこととしている。

区 分	金 額 (円)
歳入決算額	19,953,031
歳出決算額	15,561,553
歳入歳出差引額	4,391,478
翌年度へ繰り越すべき財源	0
実質収支額	4,391,478

3 小児救急医療支援事業特別会計

当会計は、次代を担う子ども達を、当圏域で安心して生み育てることができる環境づくりの一環として、夜間の小児救急医療受診者の待ち時間短縮を目的に、聖マリア病院内に設置している「久留米広域小児救急センター」を運営するための会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、33,396千円であり、予算現額に対する収入率は100.9%となっている。

歳入の内訳は、構成市町負担金、近隣市町協力金、県補助金、ふるさと振興事業特別会計繰入金及び前年度繰越金である。

款	項	金額(円)
1分担金及び負担金		15,047,000
	1負担金	15,047,000
2県支出金		6,402,000
	1県補助金	6,402,000
3繰入金		9,757,000
	1繰入金	9,757,000
4繰越金		2,190,393
	1繰越金	2,190,393
5諸収入		0
	1組合預金利子	0
	2雑入	0
歳入合計		33,396,393

(2) 歳出

歳出決算額は、31,276千円であり、予算現額に対する執行率は94.5%となっている。

歳出の主なものは、久留米広域小児救急センターの運営経費に対する久留米医師会及び聖マリア病院への補助金である。

款	項	金額(円)
1小児救急運営費		31,275,535
	1小児救急運営費	31,275,535
3予備費		0
	1予備費	0
歳出合計		31,275,535

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 2,120 千円は翌年度に繰り越すこととしている。

区 分	金 額 (円)
歳入決算額	33,396,393
歳出決算額	31,275,535
歳入歳出差引額	2,120,858
翌年度へ繰り越すべき財源	0
実質収支額	2,120,858

4 広域消防特別会計

当会計は、大川市を除く 3 市 2 町を管轄する久留米広域消防本部が「管内住民のやすらぎを育む安全で安心な地域社会の確立」を基本理念に、広域消防行政を展開するための会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、5,343,208 千円であり、予算現額に対する収入率は 99.6%となっている。

歳入の主なものは、構成市町負担金、筑後地域通信指令事務協議会負担金、緊急消防援助隊設備整備費補助金、高速自動車国道救急業務支弁金、久留米広域消防財政調整基金繰入金、前年度繰越金及び組合債である。

款	項	金額 (円)
1 分担金及び負担金		4,216,604,255
	1 負担金	4,216,604,255
2 使用料及び手数料		4,168,802
	1 使用料	740,952
	2 手数料	3,427,850
3 国庫支出金		64,359,000
	1 国庫補助金	64,359,000
4 県支出金		0
	1 県補助金	0
5 財産収入		4,376,321
	1 財産売払収入	4,351,114
	2 財産運用収入	25,207
6 繰入金		90,000,000
	1 基金繰入金	90,000,000
7 繰越金		364,898,194
	1 繰越金	364,898,194
8 諸収入		6,701,955
	1 組合預金利子	15,314
	2 雑入	6,686,641
9 組合債		592,100,000
	1 組合債	592,100,000
歳 入 合 計		5,343,208,527

(2) 歳出

歳出決算額は、5,239,550 千円であり、予算現額に対する執行率は 97.7%となっている。

歳出の主なものは、消防職員の人件費、消防施設整備事業費、消防車両整備事業費及び共同指令センター整備事業費である。

款	項	金額 (円)
1消防費		5,206,677,660
	1消防費	5,206,677,660
2公債費		32,872,512
	1公債費	32,872,512
3予備費		0
	1予備費	0
歳出合計		5,239,550,172

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 103,658 千円は翌年度に繰り越すこととしている。

なお、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源 2 千円を差し引いた 103,656 千円が実質収支額となっている。

区分	金額 (円)
歳入決算額	5,343,208,527
歳出決算額	5,239,550,172
歳入歳出差引額	103,658,355
翌年度へ繰り越すべき財源	1,739
実質収支額	103,656,616